PK CA01 VER.1

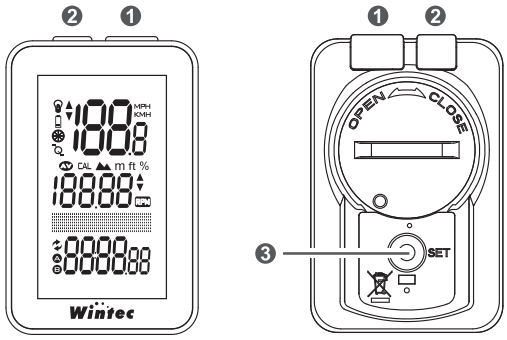
WBC 300 Plus

2.4GHz ANT+ Wireless Bike Computer

取扱説明書

Wintec

Design Patented



概要

❶ 機能ボタン
- 機能ボタンを押すことで、インフォメーション画面にある走行データの表示切替をします。
- 設定モード画面では、機能ボタンを押すことで数値や単位の変更が出来ます。
- 高度の調整時、機能ボタンを押すことで3種類の校正方法から選択、もしくは数値の設定が出来ます。

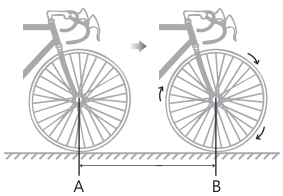
❷ バックライト／心拍/スイッチボタン
- インフォメーション画面では、ボタンを押すことでバックライトをオンに出来ます。バックライトは約5秒間点灯します。
- インフォメーション画面で、ボタンを長押しすることで心拍計のオン/オフを切替えます。
- 設定モード画面では、ボタンを押すことで数値や単位といった設定部分の変更を行います。
- 高度校正の時、ボタンを押すことで数値など設定部分の変更を行います。

❸ 設定ボタン
- インフォメーション画面では、設定ボタンを3秒間押すことで、設定モードへの切替えを行います。
- 設定モードでは、設定ボタンを押すことに次の設定画面へ進めます。
- 設定終了後、設定ボタンを3秒間押すことで、インフォメーション画面へ戻ります。

ホイールサイズ（参考一覧表）

タイヤサイズ	外周長さ(単位mm)	タイヤサイズ	外周長さ(単位mm)	タイヤサイズ	外周長さ(単位mm)
12 x 1.75	935	**26 x 7/8**	1920	**27 x 1-1/4**	2161
14 x 1.5	1020	**26 x 1(59)**	1913	**27 x 1-3/8**	2169
14 x 1.75	1055	**26 x 1(65)**	1952	**650 x 35A**	2090
16 x 1.5	1185	**26 x 1.25**	1953	**650 x 38A**	2125
16 x 1.75	1195	**26 x 1-1/8**	1970	**650 x 38B**	2105
18 x 1.5	1340	**26 x 1-3/8**	2068	**700 x 18C**	2070
18 x 1.75	1350	**26 x 1-1/2**	2100	**700 x 19C**	2080
20 x 1.75	1515	**26 x 1.40**	2005	**700 x 20C**	2086
20 x 1-3/8	1615	**26 x 1.50**	2010	**700 x 23C**	2096
22 x 1-3/8	1770	**26 x 1.75**	2023	**700 x 25C**	2105
22 x 1-1/2	1785	**26 x 1.95**	2050	**700 x 28C**	2136
24 x 1	1753	**26 x 2.00**	2055	**700 x 30C**	2170
24 x 3/4 Tubular	1785	**26 x 2.10**	2068	**700 x 32C**	2155
24 x 1-1/8	1795	**26 x 2.125**	2070	**700C Tubular**	2130
24 x 1-1/4	1905	**26 x 2.35**	2083	**700 x 35C**	2168
24 x 1.75	1890	**26 x 3.00**	2170	**700 x 38C**	2180
24 x 2.00	1925	**27 x 1**	2145	**700 x 40C**	2200
24 x 2.125	1965	**27 x 1-1/8**	2155		

注意：正確なタイヤサイズを測定するには、下記の手順に従い外周長さの測定を行ってください。



1. 予め選んだ1本のスポーク、またはタイヤのバルブが地面と垂直になるよう自転車を置いてください。この地点をAとします。
2. タイヤを地面から離さずに、ホイールをゆっくり１回転させます。1で選んだスポーク、またはバルブが地面と垂直になる位置まで回転させて下さい。この地点をBとします。
3. この地点AからBまでの距離がタイヤサイズになります。地点AからBまでの距離を測定して下さい。

サイクルコンピュータ画面について

時計
時刻を12時間／24時間単位で表示します。

ケイデンス ケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

走行時間
計測された走行時間を表示します。（00:00～99:99）

ケイデンス ケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

平均速度
走行距離を走行時間で割った平均速度を表示します。（0～9999.9）

平均ケイデンス
直近リセット後の平均ケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

平均心拍 直近リセット後の平均心拍を表示します。（0～199）

最高速度
直近リセット後計測された最高速度を表示します。（0～9999.9）

最高ケイデンス
直近リセット後の最高ケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

最高心拍 直近リセット後の最高心拍を表示します。（0～199）

高度
現在地の高度を表示
（高度は気圧計に基づき算出された値です。同じ地点であっても気象状況により表示される値が異なる場合があります。また同じ気象状況であっても、昼間と夜間で表示に20mほどの違いが出る場合もあります。）（-999～19999）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

傾斜
走行道路の傾斜を%で表示（－99～99%）
（傾斜は高低差と走行距離を基に算出しております。速度が著しく遅い場合や、急な速度変化をした場合、傾斜の値は実際と異なる場合があります。）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

最高高度
直近リセット後に計測された最高高度を表示します。（0～19999）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

総上昇量
走行中の上昇した高度の累計を表示します。（0～19999）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

走行距離
直近リセット後に計測された走行距離を表示します。（0～9999.99）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

総走行距離（オドメーター）
総走行距離をリセットする場合はセッティングモードから設定する必要があります。（0～9999.99）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

気温
計測された気温を表示します。（0～199）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

カロリー
直近リセット後のセッションでの消費カロリーを表示します。（0～9999.99）

ケイデンス 現在のケイデンスをRPMで表示します。（0～199RPM）

心拍 現在の心拍を表示します。（0～199）

オートスクロール機能
5秒間隔で各項目を表示します。オートスクロール設定では図左下のように矢印マークが2つ表示されます。

心拍ゾーンは年齢を入力すると自動的に計算されます。（サイクリングの時には以下の2から3を維持することを推奨します。）

（例）※年齢が30歳の場合
- HR ≧ 220 - **30(年齢)** = 190 BPM
- HR ≧ 190 x 0.9 = 171 BPM
- HR ≧ 190 x 0.8 = 152 BPM
- HR ≧ 190 x 0.7 = 133 BPM
- HR ＜ 133 BPM

画面の▲▼表示について

右図のように▲の表示は現在の速度が、平均速度よりも速いことを意味します。▼の表示は現在の速度が、平均速度よりも遅いことを意味します。

左図のように▲の表示は現在のケイデンスが、平均ケイデンスよりも高いことを意味します。▼の表示は現在のケイデンスが、平均ケイデンスよりも低いことを意味します。

右図のように▲の表示は現在の心拍が、平均心拍よりも高いことを意味します。▼の表示は現在の心拍が、平均心拍よりも低いことを意味します。

本体の操作方法

データリセット

高度校正以外においては、❶の機能ボタンを3秒間押すと高度以外の各項目の値が0にリセットされます。高度の調整方法については「高度校正」欄をご参照下さい。

省エネモード

本体が10分間スピード／ケイデンスセンサーからのデータを受信しなかった場合、もしくは本体の各ボタンを10分間使用しなかった場合、本体は省エネモードとなり、時刻のみの表示に切り替わります。

オートスタート／オートストップ

省エネモードで❶の機能ボタンを押すとインフォメーション画面に戻ります。

液晶画面のコントラスト調整

液晶画面のコントラストはボタン電池を交換する際に調整して下さい。ボタン電池交換時、全てのアイコンが3秒間表示されます。その間に❶機能ボタンを押すと液晶が暗く、❷バックライト／スイッチボタンを押すと液晶が明るく調整出来ます。調整後は❸の設定ボタンを押し、通常画面に戻ります。

速度／ケイデンスセンサーのペアリング

この製品は、ANT+の速度／ケイデンスセンサーに対応しています。再ペアリングの際には、設定モードの「SC.SCAN」よりペアリングを行って下さい。
この製品はAとB、2つの速度／ケイデンスセンサーを登録する事が出来ます（2台の自転車で使用など）。ペアリングの際にはAかBのどちらかを選択して頂き、ペアリングを行って下さい。本体は設定モードで選択した速度／ケイデンスセンサーよりデータを受信します。

心拍計を有効にする

心拍計を有効にするには、まずインフォメーション画面に切替えてください。次にバックライト/心拍/スイッチボタンを押して心拍計のオン/オフ操作を行ってください。（♥マークが表示されている時は心拍計はオンで、表示されていない時は心拍計はオフです。）

心拍計の本体とのペアリング

心拍計はANT+対応です。設定モードに入りHR.SCANの画面を表示してください。ペアリングが完了すると固有の番号が表示されます。心拍計に電池は正しく挿入し、正しい位置に着用してください。

高度校正

インフォメーション画面の高度に関する画面（例：高度、最大高度、累計上昇高度、傾斜）にて、❶の機能ボタンを3秒間押すと、高度調整モードになります。表示高度を調整後、再度❶の機能ボタンを3秒間押すとインフォメーション画面に戻ります。
高度調整には2つの方法があります。

❶ ADJUST：屋外にて高度の明らかな現在地の高度を手動で入力します。
例えば海岸線を走行中や、山間を登っている時など。

❷ HOME：ご使用前に、すでに高度の明らかな場所として高度を手動で入力します。
（ADJUSTとの違いがよくわからない。「数値を入れることなく選択できる」などわかりやすい表現が良い）

❸ DEFAULT： 工場出荷時の数値です。変更は出来ません。

設定モード

インフォメーション画面へ入る/出るは設定ボタンを3秒押す。

CLOCK（時刻設定）
↓
UNIT（単位設定KMH/MPH）
↓
CHOOSE（Aバイク/Bバイク選択）
↓
TIRE SIZE（タイヤサイズ設定）
↓
AGE（年齢設定）
↓
ODOMETER（総走行距離）
↓
SC. SCAN（速度/ケイデンスセンサーペアリング）
↓
HR.SCAN（心拍計ペアリング）

❸ の設定ボタンを3秒間押すと設定モードになります。
もう一度、設定ボタンを3秒間押すと、インフォメーション画面に戻ります。

CLOCK（時刻設定）
❶機能ボタンを押し、時刻表示の12時間／24時間単位表示の切替え、及び時刻合わせを行います。
❷バックライト／スイッチボタンを押し、変更したい箇所を選択します。
❸設定ボタンを押すことで、設定した値の保存及び次の設定画面に進みます。

UNIT（単位の設定）
❶機能ボタンを押し、KMH (km/hr) もしくはMPH(mile/hr)の選択をします。
❸設定ボタンを押すことで、設定した値の保存及び次の設定画面に進みます。

CHOOSE（バイクの選択）
❶機能ボタンを押し、使用する自転車AまたはBを選択します。
❸設定ボタンを押すことで、設定した値の保存及び次の設定画面に進みます。

TIRE SIZE（タイヤサイズ登録）
❶機能ボタンを押し、タイヤの外周長さを入力します。
❷バックライト／スイッチボタンを押し、変更したい箇所を選択します。
❸設定ボタンを押すことで、設定した値の保存及び次の設定画面に進みます。

AGE（年齢設定）
❶機能ボタンを押し年齢の数値を変更します。
❷バックライト/心拍/スイッチボタンを押し、変更したい箇所を選択します。
❸設定ボタンを押すことで、設定した値の保存及び次の設定画面に進みます。

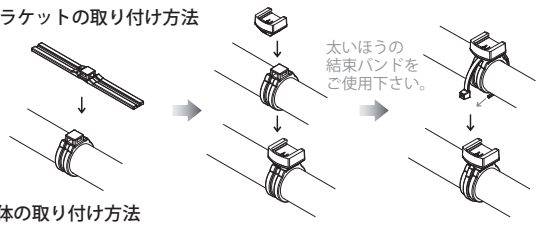
ODOMETER（オドメータの調整）
❶機能ボタンを押し、オドメータ（総走行距離）の数値を変更します。
❷バックライト／スイッチボタンを押し、変更したい箇所を選択します。
❸設定ボタンを押すことで、設定した値の保存及び次の設定画面に進みます。

SC. SCAN（速度／ケイデンスセンサーのペアリング）
SC. SCAN画面でペアリングを行います。
ペアリングが完了しますとセンサーのID番号が表示されます。
❶機能ボタンを押すと、設定モードが終了し、インフォメーション画面へ戻ります。
❸設定ボタンを押すと、心拍計ペアリング画面にとなります。
※速度/ケイデンスセンサーに十分な残量のある電池を挿入してください。
マグネットとの距離が開き過ぎないよう注意してください。

HR.SCAN（心拍計のペアリング）
HR.SCAN画面でペアリングを行います。
ペアリングが完了しますとセンサーのID番号が表示されます。
❶機能ボタンを押すと、設定モードが終了し、インフォメーション画面へ戻ります。
❸設定ボタンを押すと、再度最初の時刻設定画面に戻ります。
※心拍計に十分な残量のある電池を挿入してください。
心拍計は正しい位置に装着してください。

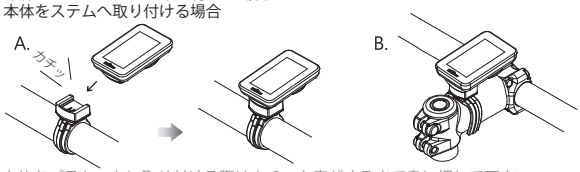
各部部品の取り付け方法

ブラケットの取り付け方法



本体の取り付け方法

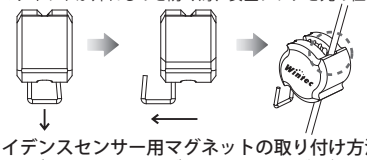
A. 本体をハンドルバーへ取り付ける場合
B. 本体をステムへ取り付ける場合



※本体をブラケットに取り付ける際はカチッと音がするまで奥に押して下さい。

速度センサー用マグネットの取り付け方法

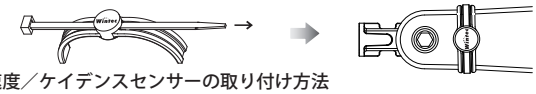
1. マグネットを取り付けるスポークに埃や汚れが無い事を確認して下さい。
2. マグネットから図のように安全フックを引き上げて下さい。
3. マグネットを図のようにスポークへ取り付けて下さい。スポークが2つのマグネットの一番奥で挟まれている事を確認して下さい。
4. マグネットが外れるのを防ぐ為、安全フックを元の位置に差し込んで下さい。



※スポークが図のように、マグネットの一番奥の溝に入っていることを確認して下さい。

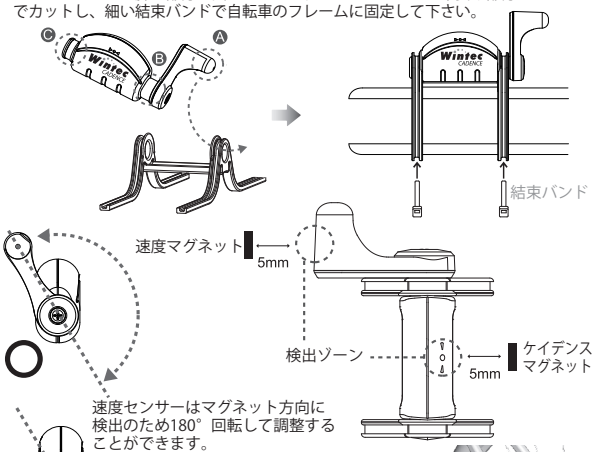
ケイデンスセンサー用マグネットの取り付け方法

1. ケイデンスセンサー用マグネットをシリコン製バンドの中に入れて下さい。
2. ケイデンスセンサー用マグネットが落ちないように、結束バンドをシリコン製バンドに通して下さい。
3. シリコン製バンドを使い、クランクの外周を測ってください。バンドの不要な部分をはさみでカットして下さい。
4. 最後にマグネットの位置を調整し、結束バンドでクランクに固定して下さい。



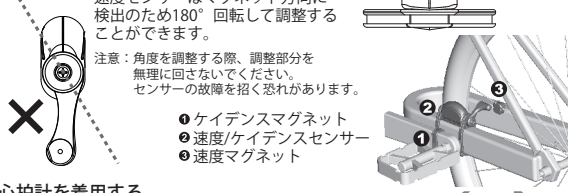
速度／ケイデンスセンサーの取り付け方法

1. まず図のように速度／ケイデンスセンサー用ラバーホルダーをセンサーに組みつけて下さい。（手順：Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ）
2. 各センサー検出ゾーンに各マグネット中央部が平行になるように取付けてください。
3. ラバーホルダーの脚の部分の長さをはかり、ラバーホルダーの不要な部分をはさみでカットし、細い結束バンドで自転車のフレームに固定して下さい。



速度センサーはマグネット方向に検出のため180°回転して調整することができます。

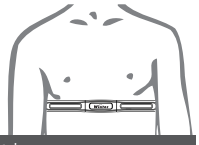
注意：角度を調整する際、調整部分を無理に回さないでください。センサーの故障を招く恐れがあります。



❶ケイデンスマグネット
❷速度/ケイデンスセンサー
❸速度マグネット

心拍計を着用する

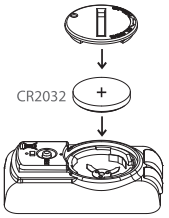
1. 胸囲に応じて心拍計の長さを調整してください。
2. 心拍計ストラップ（伸縮ベルト）の両端にあるフックを2つの穴に挿入し、心拍計に固定されるように押してください。
3. 検出ゾーンを心臓近くにセットし、WINTECロゴが表にくるように着用してください。

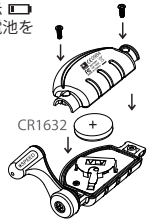


・エラーを防ぐには胸を少し水で濡らすと効果があります。
・アレルギー症状や気分が悪くなった場合にはすぐに心拍計をはずしてください。
・心拍計を検出できない場合には再度ペアリングをして頂くか電池を確認してください。
・心拍計を清潔に保つには、心拍計使用後、濡れタオルでふいてください。

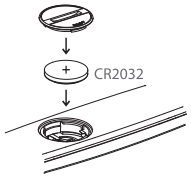
ボタン電池の交換方法

本体画面に電池残量低下の表示 が出たときは、本体のボタン電池を新しいものに交換して下さい。
（型式：CR2032）





速度／ケイデンスセンサーの電池も交換可能です。
図のように2箇所のネジを緩めセンサー内部のボタン電池を交換して下さい。（型式：CR1632）



心拍計（型式：CR2032）

メインテナンス(メンテナンス)

本体及びセンサー類についた汚れは、やわらかい布などでふき取って下さい。

仕様

マイクロコンピューター	16bit 1チップ（クリスタルオシレータ）
電池	WBC-300+本体：3Vコイン型リチウム電池　CR2032　1個 速度/ケイデンスセンサー：3Vコイン型リチウム電池 CR1632　1個 心拍計：3Vコイン型リチウム電池　CR2032　1個
電池寿命	WBC-300+本体：約10カ月 速度/ケイデンスセンサー：約12カ月 心拍計：　約12カ月 ※1日1時間使用した場合の計算です。電池寿命はご使用頻度により変化いたします。また、バックライトの多用は電池寿命を早めます
ディスプレイ	LCD液晶ディスプレイ
タイヤサイズ設定	タイヤ外周　0～9999mm（デフォルト値：2096mm）
動作温度	0℃～40℃ （使用温度以外の環境でご使用は故障の原因となる可能性があります）
サイズ	WBC-300＋本体：54×35×12mm 速度/ケイデンスセンサー：62×24×12mm 心拍計：354×33×12㎜
重さ	WBC-300＋本体：21g 速度/ケイデンスセンサー：11g 心拍計：48g

※製造時に取り付けたボタン電池の寿命は、仕様より短くなる場合があります。
※製品の仕様やデザインは変更する場合があります。

トラブルシューティング

画面が表示されない

（1）電池残量を確認して下さい。気温が低い中でご使用いただくと液晶画面の切り替わりが遅くなる場合がございます。
（2）電池は正しく挿入されていますか？裏表逆になっていませんか？
（3）本体の電池カバーは正しくロックされていますか？

速度が表示されない。

（1）速度センサーとマグネットの間に、ゴミなどが付着していませんか？
（2）速度センサーとマグネットのクリアランスが5mm以下にセットされているか再度確認して下さい。

速度や距離が正しく表示されない。

（1）タイヤサイズが正しく設定されているかご確認下さい。
（2）速度センサーとマグネットのクリアランスが5mm以下にセットされているか再度確認して下さい。
（3）電池を一度外し、再度本体に挿入して下さい。

液晶画面の表示が暗い。

気温が高くないか確認して下さい。気温が高いと液晶画面の色は濃くなります。
電池の残量が十分であるか確認して下さい。

システムに遅れが生じる

（1）気温が低くないか確認して下さい。気温が低いなかでご使用いただくと液晶画面の切り替わりが遅くなる場合があります。
（2）電池の残量があるか確認して下さい。

高度が正確に表示されない。

高度は気圧計に基づき算出された値です。同じ地点であっても気象状況により表示される値が異なる場合があります。また同じ気象状況であっても、昼間と夜間で表示に20mほどの違いが出る場合があります。高度表示にずれが見られる場合は、高度が明確な地点へ行き、正しい値を入力し値を補正して下さい。

センサーがうまくペアリングできない

（1）バッテリー残量が十分か確認してください
（2）本体の画面内でうまくペアリングできているか確認してください
（3）速度/ケイデンスセンサーの設置位置に問題はないですか？
（4）心拍計は正しい位置に装着していますか？
（5）本体で心拍計が有効であるように設定していますか？

注意事項

本製品を使用または使用不可能によって発生したいかなる損害、不利益などについて、本製品を製造したメーカー、販売店はなんら責任を負うものではありません。

WBC-300+をご使用になる前にこの取り扱い説明書をお読み下さい。
取り扱い説明書は、いつでも御覧になれる場所に保存していただきますようお願いいたします。
・自転車走行中は安全を第一に考え走行して下さい。走行中はサイクルコンピュータを操作しないでください。
・速度／ケイデンスセンサーと各マグネットのクリアランスが5mm以下に保たれるよう、定期的な確認を行って下さい。
・本体は絶対に分解しないで下さい。
・本体を直射日光の下に長時間放置しないで下さい。
・センサー類、マグネット、ブラケットの取付位置を含めた定期的な点検をして下さい。
・この製品はANT+の速度／ケイデンスセンサー、ANT+心拍計に対応していますANT+の速度センサー単体、ANT+ケイデンスセンサー単体、パワーメーターなどのその他ANT+周辺機器にはご使用できません。

この装置は、FCC規則Part 15に記載されているClass Bデジタル装置の限界値に適合している事が、テストによって確認されています。この限界値によって、この装置は、日常生活環境で動作させた場合に有害な干渉が起きないようになっております。この装置は、無線高周波エネルギーを放射しています、したがって、取扱説明書に従って正しく設置及び使用しない場合、無線通信に受信障害が発生する可能性があります。また、取り付け具合による通信不良につきましては、動作保証出来ませんので予めご了承ください。
本製品の電源を入れることで発生する干渉については下記の対策をお試し下さい。
・受信機、アンテナ等の取り付け位置を変更する。
・干渉が発生する機器と本製品との距離をひろげる。
・干渉が発生する機器の電源と本製品の電源を、別々の電源から引く。
・電子機器の専門業者に相談する。

本製品をご使用の際は付属の説明書に従いご使用下さい。説明書に無い使い方や、製品の分解、改造を行った場合は製品の安全に保証は出来ません。